

2014年3月期第1四半期連結決算報告(国際会計基準)
(2013年4月1日～2013年6月30日)

- コスト削減を反映し前年比で利益改善
- 市場状況は概ね安定
- コスト削減施策は計画通り進捗
- 利益改善に引き続き注力

コスト削減を反映し前年比で利益改善

- グループ売上は、1,507億円の前年比15%増収(前年同期1,312億円)現地通貨ベースで1%の減収
- 無形資産償却と個別開示項目前営業利益は、41億円(前年同期6億円)コスト削減を反映
- 建築用ガラス事業は、売上576億円(前年同期524億円)、営業利益3億円(前年同期損失33億円)
- 自動車用ガラス事業は、売上777億円(前年同期632億円)、営業利益29億円(前年同期26億円)
- 高機能ガラス事業は、売上152億円(前年同期151億円)、営業利益20億円(前年同期15億円)
- 個別開示項目は24億円。リストラクチャリング費用23億円を含む

市場状況は概ね安定

- 当社グループの主要市場である欧州市場は概ね安定的であり、コスト削減により収益改善
- 日本では、建築用ガラス市場は徐々に改善。自動車用ガラス市場は安定
- 北米では、旺盛な国内需要により建築市場が改善。自動車市場は改善継続
- 高機能ガラス市場は、ほぼ前年並みだが、コスト削減により収益改善
- 持分法適用会社投資利益は、ブラジルでの需要増があり若干の改善

コスト削減施策は計画通り進捗

- リストラクチャリングにより、前年比23億円の利益効果
- 前年度のリストラクチャリングにより欧州の稼働水準は改善
- 生産性改善施策を今年度も継続
- キャッシュ管理と運転資本改善に引き続き注力

利益改善に引き続き注力

- 2014年3月期第1四半期の業績はリストラ効果を反映
- 引き続き収益力回復に注力
- 2014年3月期通期業績見通しを維持

連結損益計算書



(億円)	14年3月期 4月-6月期	13年3月期 4月-6月期	前年比
売上高	1,507	1,312	15%**
無形資産償却と個別開示項目前営業利益	41	6	
償却費*	(21)	(17)	
個別開示項目前営業利益(損失)	20	(11)	
個別開示項目	(24)	(74)	
営業損失	(4)	(85)	
金融費用(純額)	(50)	(36)	
持分法による投資利益	0	(1)	
税引前損失	(54)	(122)	
当期損失	(69)	(110)	
親会社の所有者に帰属する当期損失	(71)	(111)	
EBITDA	121	79	...

*ピルキントン買収に伴って発生した無形資産の償却

**為替変動を除くと-1%

市場状況は概ね安定

2013年8月1日 | 2014年3月期第1四半期決算報告

7